

2次選考通過・愛称候補11作品

番号	愛称	フリガナ	愛称の意味・由来
1	結ドーム	ユイドーム	人と人とを結びつける、繋がりを強くするという意味で。本当は結ホール（ゆいホール）がどうかとも思いましたが、既にあるゆうホールと混乱するので。とにかく<結>という字を入れたいです。
2	イリエ	イリエ	かつて久御山の文化の中心にあった巨椋池。万葉集の和歌「巨椋の入江響むなり射目人の伏見が田居に雁渡るらし」から拝借して、イリエと名づけました。入江とは陸地に湖や海が入りこんだ、生活と自然の交差点地点です。暮らしのなかで豊かな文化に出会うことのできるこの施設を、そんな入江に見立ててみたいと思いました。文化とは風土です。私たちの町のはじまりに、巨椋池という数多の文人に愛された風土があったことは、二つとない私たちの宝物です。「じゃあイリエに集合ね。」「イリエで一息ついてくるわ。」そういう声が道で聞こえてきたら、素敵です。昔を知る町の長老たちは、もしやタイムスリップしたかと思うかもしれません。かつてこの地にあった風土を彷彿とさせる名を新しい文化の拠点に宿し、私たちが呼び交わしつづけることによって、断絶した風土をもう一度つなぎなおし、この久御山の地に眠る文化の種を再び咲かせることができれば、これ以上にうれしいことはありません。「うちの町はなににもないけど、イリエがある。」そう胸が張れるような、新しい町の風土が誕生することを願っています。
3	グランハット	グランハット	外観が大きな（グラン）帽子（ハット）に見えることからグランハットとした。町のシンボルという印象が出ると思う。
4	絆ホール	キズナホール	「絆の響鳴」予算を主軸に、今後もこのまちづくりセンターで地域全世代の「絆」を深めていってほしいという願いをこめて。
5	リガーレ 久御山	リガーレクミヤマ	リガーレ「Ligare」はラテン語で繋ぐ、無鈴、絆の意味があり久御山の町民が絆で繋がれる場所として。
6	ミナクリエ	ミナクリエ	「皆」、スペイン語の「mina(宝の山)」、ポルトガル語の「crie(創造する)」を合わせて「ミナクリエ」としました。久御山町の老若男女、皆でまちづくりを行い、素晴らしいものが生み出されるイメージです。
7	わくわくホール	ワクワクホール	小さなお子さんでもお年寄りでも覚えやすくわかりやすい言葉で親しみを持ってもらいたいとおもいました。ここに来れば老若男女だれもが心踊る空間というイメージで「わくわく」という言葉を選びました。いきいきホール、あいあいホール、ゆうホールなど、久御山町の他の施設と同じ「ホール[という名前]にすることで久御山町の施設だとすぐわかります。
8	ユメアス	ユメアス	夢+明日、U S = 英語で「私たち」の意味より。町民が気軽に訪れることができる、夢のある、居心地の良い交流センターを表現しました。
9	くみやま ホットハット	クミヤマ ホットハット	最初に施設の姿を見た時に素敵な帽子に見えました。全世代のいろいろな活動を大きく優しく温かく包み込む帽子をなぞらえて愛称をつけました。
10	エミリア	エミリア	笑みの「エミ」と、場所の意エリアの「リア」を組み合わせ、老若男女の多くの町民が訪れ、様々な人たちとつながり、様々な活動とつながる、みんなの笑顔があふれる場所を思いかべ、名付けました。
11	クロスパレット	クロスパレット	交差・交流するの意の「クロス」から、老若男女の多くの町民が訪れ、様々な人たちのつながり、様々な活動とのつながりがパレットのように散りばめられた場所を思いかべ、名付けました。